

「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」指標一覧

重点課題(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策

	目標項目	計画策定時 (H26年度)	R元年度 進捗状況	R2年度 進捗状況	R3年度 進捗状況	進捗	最終評価 目標
成果指標	乳児死亡率(出生千対)	3.0 (H25)	1.7 (H30)	1.4 (R1)	2.4 (R2)	↓	減少
	幼児(1歳から4歳)死亡率 (人口10万対)	19.2 (H25)	11.1 (H30)	14.8 (R1年)	10.0 (R2年暫定値)	↑	減少
	むし歯のない3歳児の割合	81.0% (H25年度)	84.7% (H30年度)	87.4% (R1年度)	87.6% (R2年度暫定値)	↑	90%
	妊娠中の妊婦の喫煙率	2.8% (H25年度)	2.1% (H30年度)	1.6% (R元年度)	1.7% (R2年度)	↓	0%
取組指標	子育て世代包括支援センター設置 市町数	1市町 (H26年度)	25市町 (R元年度)	29市町 (R2年度)	29市町 (R3年度)	→	29市町
	母子保健コーディネーター養成数 (累計)	15人 (H26年度)	132人 (H30年度)	169人 (R元年度)	194人 (R2年度)	↑	295人
	乳幼児健診の受診率	97.1% (4か月児)	97.4% (4か月児)	98.0% (4か月児)	98.1% (4か月児)	↑	増加
		91.2% (10か月児)	93.2% (10か月児)	95.3% (10か月児)	96.0% (10か月児)	↑	
		97.8% (1歳6か月児)	98.2% (1歳6か月児)	97.5% (1歳6か月児)	98.3% (1歳6か月児)	↑	
		95.8% (3歳児)	96.7% (3歳児)	96.7% (3歳児)	97.4% (3歳児)	↑	
	乳幼児健診の未受診者のフォロー 率	95.4% (4か月児)	99.6% (4か月児)	99.6% (4か月児)	99.6% (4か月児)	→	100%
		89.9% (10か月児)	99.6% (10か月児)	99.7% (10か月児)	98.8% (10か月児)	↓	
		95.3% (1歳6か月児)	99.7% (1歳6か月児)	99.7% (1歳6か月児)	100.0% (1歳6か月児)	↑	
		91.2% (3歳児)	98.9% (3歳児)	100.0% (3歳児)	100.0% (3歳児)	→	
産婦健診・産後ケアを実施している 市町数	(参考)3市町 (H29年度)	19市町 (R元年度)	24市町 (R2年度)	27市町 (R3年度)	↑	29市町	
妊娠届出時等に医療機関と情報提供等 の連携をした市町数	22市町 (H26年度)	29市町 (R元年度)	29市町 (R2年度)	29市町 (R3年度)	→	29市町	
フッ化物歯面塗布を実施している 市町数	22市町 (H25年度)	23市町 (H30年度)	23市町 (R1年度)	22市町 (R2年度)	↓	29市町	
妊婦歯科健康診査に取り組む市町 数	11市町 (H26年度)	15市町 (H30年度)	17市町 (R1年度)	22市町 (R2年度)	↑	29市町	
県独自のすべての不妊治療助成事 業に取り組む市町数	5市町 (H26年度)	17市町 (R元年度)	20市町 (R2年度)	22市町 (R3年度)	↑	29市町	
不妊治療に職場の理解があると感じて いる人の割合	—	—	48.6% (R元年度)	49.8% (R2年度)	↑	60%	
参考指標	周産期死亡率(出産千対) 及び妊産婦死亡率(出産10万対)	4.1 (H25周産期) 0.0 (H25妊産婦)	2.9 (H30周産期) 7.8 (H30妊産婦)	2.0 (R1周産期) 0.0 (R1妊産婦)	2.9 (R2周産期) 0.0 (R2妊産婦)	—	—
	妊娠11週以下での妊娠の届出率	93.4% (H25年度)	94.3% (H30年度)	94.1% (R1年度)	95.4% (R2年度)	—	—
	1歳6か月児健診時までに麻疹(M R)の予防接種を終了している人の割合	93.5% (H25年度)	95.1% (H30年度)	95.2% (R1年度)	96.5% (R2年度)	—	—
	1歳6か月児健診時までに定期予防接 種を全く受けていない人の数	—	89人 (H30年度)	60人 (R1年度)	49人 (R2年度)	—	—
	仕上げ磨きをする親の割合(1歳6か 月児)	68.1% (H26年度)	71.0% (R元年度)	69.8% (R2年度)	67.5% (R3年度)	—	—
	「不妊相談センター」への相談件 数及び特定不妊治療費助成件数	285件 (相談件数) 2,453件 (助成件数) (H25年度)	114件 (相談件数) 2,342件 (助成件数) (H30年度)	138件 (相談件数) 2,295件 (助成件数) (R元年度)	197件 (相談件数) 2,255件 (助成件数) (R2年度)	—	—

重点課題（２）学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	R元年度 進捗状況	R2年度 進捗状況	R3年度 進捗状況	進捗	最終評価 目標
成果指標	十代の人工妊娠中絶率（20歳未満女子人口千対）	5.9 (H25)	4.4 (H30)	4.0 (R1)	2.9 (R2暫定値)	↗	減少
	中学3年生（14歳）の女生徒で体重が標準の-20%以下の割合	3.17% (H25年度)	3.09% (H30年度)	3.07% (R1年度)	3.50% (R2年度)	↘	減少
	十代の性感染症報告数 (梅毒のみ実数値、その他は1定点あたり)	1.24 (性器クラミジア)	1.35 (性器クラミジア)	0.94 (性器クラミジア)	1.38 (性器クラミジア)	↘	減少
		0.06 (淋菌感染症)	0.12 (淋菌感染症)	0.35 (淋菌感染症)	0.24 (淋菌感染症)	↗	
0.24 (尖圭コンジローマ)		0.06 (尖圭コンジローマ)	0.12 (尖圭コンジローマ)	0.18 (尖圭コンジローマ)	↘		
0.06 (性器ヘルペス)		0.06 (性器ヘルペス)	0.18 (性器ヘルペス)	0.18 (性器ヘルペス)	→		
0 (梅毒) (H25)		0 (梅毒) (H30)	3 (梅毒) (R1)	3 (梅毒) (R2)	→		
取組指標	妊娠・出産や性に関する医学的知識を持ち、自らの人生について考えることができる人を育てるためのライフプラン教育を実施している市町数	10市町 (H26年度)	25市町 (R元年度)	21市町 (R2年度)	21市町 (R3年度)	→	29市町
	朝食を毎日食べる小学生（6年生）の割合	87.6% (H26年度)	86.3% (R元年度)	調査なし (R2年度)	85.7% (R3年度)	↘	100%
	思春期教室・相談事業を実施している市町数	18市町 (H26年度)	21市町 (R元年度)	20市町 (R2年度)	19市町 (R3年度)	↘	29市町
参考指標	学校保健委員会を開催している公立の小中学校及び高校の割合	86.9% (H25年度)	99.7% (H30年度)	99.7% (R1年度)	84.3% (R2年度)	—	—
	十代の自殺率（人口10万対）	1.1 (10～14歳)	1.3 (10～14歳)	3.8 (10～14歳)	0.0 (10～14歳)	—	—
		7.7 (15～19歳) (H25)	9.2 (15～19歳) (H30)	5.8 (15～19歳) (R元)	11.1 (15～19歳) (R2暫定値)	—	—
	ひきこもり・思春期問題をかかえる家族グループ（教室・集い）への参加者数	432人 (H25年度累計)	756人 (R元.12時点)	814人 (R2.12時点)	905人 (R3.12時点)	—	—
	妊娠レスキューダイヤルにおける相談件数	50件 (H25年度)	85件 (H30年度)	88件 (R1年度)	311件 (R2年度)	—	—
子宮頸がん予防ワクチンの接種者数	1568人 (H25年度)	18人 (H29年度)	51人 (H30年度)	134人 (R1年度)	—	—	

重点課題（３）子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	R元年度 進捗状況	R2年度 進捗状況	R3年度 進捗状況	進捗	最終評価 目標
成果指標	住んでいる地域で子育てをしたいと思う親の割合	94.9% (H26年度)	95.3% (R元年度)	95.8% (R2年度)	96.1% (R3年度)	↗	増加
	乳幼児の不慮の事故死亡率 (人口10万対)	41.2 (0歳)	7.8 (0歳)	0.0 (0歳)	9.0 (0歳)	↘	減少
		3.2 (1～4歳) (H25)	5.5 (1～4歳) (H30)	1.9 (1～4歳) (R1)	2.0 (1～4歳) (R2)	↘	
	乳幼児健診の未受診者の全数をフォローしている市町数	20市町 (4か月児)	28市町 (4か月児)	28市町 (4か月児)	28市町 (4か月児)	→	29市町
21市町 (10か月児)		28市町 (10か月児)	28市町 (10か月児)	25市町 (10か月児)	↘		
26市町 (1歳6か月児)		28市町 (1歳6か月児)	28市町 (1歳6か月児)	29市町 (1歳6か月児)	↗		
24市町 (3歳児)		27市町 (3歳児)	29市町 (3歳児)	29市町 (3歳児)	→		
(H25年度)		(H30年度)	(R1年度)	(R2年度)			
地域の住民組織、NPO法人、ボランティア等と連携して実施している母子保健の取組がある市町数	23市町 (H26年度)	29市町 (R元年度)	28市町 (R2年度)	26市町 (R3年度)	↘	29市町	
参考指標	プレネイタル・ビジット（出産前小児保健指導）またはペリネイタル・ビジット（出産前後保健指導）を受けた人の数	51件 (H25年度)	62件 (H30年度)	66件 (R1年度)	112件 (R2年度)	—	—
	育児休業制度を利用した従業員の割合	男4.2% 女90.4% (H25年度)	男4.4% 女95.7% (H29年度)	男7.6% 女90.9% (H30年度)	男9.4% 女99.0% (R元年度)	—	—

重点課題（４）育てにくさを感じる親に寄り添う支援

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	R元年度 進捗状況	R2年度 進捗状況	R3年度 進捗状況	進捗	最終評価 目標
成果 指標	日常の育児について相談相手のいる親の割合	99.4% (H26年度)	98.9% (R元年度)	98.7% (R2年度)	99.2% (R3年度)	↗	100%
取組 指標	育児支援を目的として健診スタッフに心理相談員または保育士等が配置されている市町村数	27市町 (H26年度)	28市町 (R元年度)	28市町 (R2年度)	28市町 (R3年度)	→	29市町
	周産期医療施設から退院したハイリスク児への市町村における訪問等の実施率	97.4% (H26年度)	100% (R元年度)	99.8% (R2年度)	100% (R3年度)	↗	100%
	「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合	20.5% (H25年度)	53.8% (H30年度)	57.4% (R元年度)	59.4% (R2年度)	↗	100%
参考 指標	重症心身障がい児（者）相談支援事業登録者数	356人 (H26.3)	418人 (H31.3)	397人 (R2.3)	303人 (R3.3)	—	—
	親子の心の問題に対応できる技術をもった小児科医の人数（子どもの心相談医登録者数）	25人 (H25.10.1)	22人 (R元.10.1)	22人 (R2.10.1)	25人 (R3.10.1)	—	—
	5歳児健診を実施する市町村数	5市町 (H26年度)	7市町 (R元年度)	8市町 (R2年度)	8市町 (R3年度)	—	—
	通学している人工呼吸器使用児の数	—	1人 (小中学校) 2人 (特別支援学校) (R元.11時点)	2人 (小中学校) 2人 (特別支援学校) (R2.11時点)	2人 (小中学校) 2人 (特別支援学校) (R3.11時点)	—	—

重点課題（５）妊娠期からの児童虐待防止対策

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	R元年度 進捗状況	R2年度 進捗状況	R3年度 進捗状況	進捗	最終評価 目標
成果 指標	虐待による死亡件数（児童相談所関与）	0件 (H25年度)	0件 (H30年度)	0件 (R元年度)	0件 (R2年度)	→	0件
取組 指標	母子健康手帳交付時に保健指導やアンケート等により状況把握を行った妊産婦の割合	57.5% (H25年度) ※1	100% (R元年度)	100% (R2年度)	100% (R3年度)	→	100%
	乳児家庭全戸訪問事業と養育支援訪問事業をともに実施する市町村数	23市町 (H25年度)	29市町 (R元年度)	29市町 (R2年度)	29市町 (R3年度)	→	29市町
	子ども家庭総合支援拠点を設置している市町村数	—	1市町 (R元年度)	6市町 (R2年度)	21市町 (R3年度)	↗	29市町
参考 指標	児童相談所における児童虐待相談対応件数	1,117件 (H25年度)	2,074件 (H30年度)	2,229件 (R元年度)	2,315件 (R2年度)	—	—
	十代の母による出生数	1人 (15歳未満) 49人 (15～17歳) 187人 (18～19歳) (H25)	0人 (15歳未満) 30人 (15～17歳) 104人 (18～19歳) (H30)	2人 (15歳未満) 15人 (15～17歳) 101人 (18～19歳) (R1)	0人 (15歳未満) 22人 (15～17歳) 82人 (18～19歳) (R2)	—	—
	要保護児童対策地域協議会とDV対策協議会を組織的に一体化する市町村数	—	13市町 (R元年度)	13市町 (R2年度)	17市町 (R3年度)	—	—